



青カミシ

烏山北小学校の教育目標

◎すすんで学びよく考える子ども

○豊かな心をもち仲良く助け合う子ども

○すすんで健康な体をつくる子ども

重点目標 みとめあい まなびあい そだてあい

<目指す児童像> 「かしこい子」「らしさを大事にする子」「きりつ正しい子」「たくましい子」

令和8年4月30日(木)
創立74周年 No. 2

烏山学舎 世田谷区立烏山北小学校 校長 河野 芳浩
〒157-0061 世田谷区北烏山6-3-1 TEL3300-5764 FAX3300-5785
学校HP <http://school.setagaya.ed.jp/kata/>



踏まれて、強く、しなやかに 四つ葉のクローバーが教えてくれるもの♪ 校長 河野 芳浩

校庭の木々の若葉が目まぶしい季節を迎えました。朝早く、あちこちから鳥のさえずりも聞こえてきます。校庭を飛び回るツバメは、昨年巣立ったあの子たちでしょうか。ひんぱんに行き交う姿を見かけるようになりました。校庭隅の芝生や学年花壇では、小さな生き物たちが活発に活動をしています。子どもたちは、自然や生き物とのふれあいを存分に楽しんでいます。

先日、休み時間に校庭へ出ると、子どもたちが夢中になって地面を見つめ、何か探しているようでした。近くへ行って声をかけると、四つ葉のクローバーを探しているんだと教えてくれました。そして、今まきに見つけたばかりのとれたてほやほやの四つ葉のクローバーを見せてくれました。

この四つ葉のクローバー、なぜ生まれるのかをご存知でしょうか。遺伝的な理由もありますが、大きな要因の一つは、芽がまだ小さい頃に人や動物に踏まれるという「物理的な刺激」だと言われています。そう子どもたちが教えてくれました。踏まれて傷ついた部分を再生しようとする、植物の強い生命エネルギーが、本来の三つ葉を四つ葉へと変えるのだそうです。私は、感心しながら一緒に四つ葉のクローバーを探しましたが、その時は見つけられませんでした。

私はこの現象に、子どもたちの成長の姿を重ねずにはられません。

私たちはつい、子どもたちが傷つかないように、踏まれないようにと、平坦で柔らかな道を用意してあげてください。しかし、生きていく上では、思い通りにいかないことや、悔しさ、葛藤といった「心の踏みつけ」を感じる場面が必ず訪れます。

大切なのは、その困難を完全に排除してあげるのではなく、踏まれたときにそこから「自分を再生させ、新しい形へ成長させる力」を信じて見守ることではないかと考えます。

四つ葉のクローバーは、踏まれた痛みを力に変え、特別な形となって幸せの象徴となりました。同じように、今、子どもたちが直面している小さな失敗や苦労も、いつかその子だけの「優しさ」や「強さ」という四枚目の葉を育てるための、大切な栄養になるのだと私たちは信じています。

学校は、失敗を恐れずに挑戦し、たとえ踏まれても再び顔を上げられる場所でありたいと考えています。ご家庭におかれましても、お子様が壁にぶつかったとき、困難に向き合おうとするときには、「それは今、心の四つ葉を育てている最中なのだ」と、温かく、そしてじっくりと見守っていただければ幸いです。すべてが学びに変わり、時間をかけて喜びにつながっていくものと信じます。

一人一人が自分らしい「幸せの形」を咲かせられるよう、今月も教職員一同、保護者、地域の方々と「みとめあい まなびあい そだてあい」のからきた小の教育活動に取り組み、子どもたちの歩みを支えてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

4、5月うまれのおともだちへ

おたんじょうびおめでとうございませう。けんこうがまもられて、よろこびにみちた、にこにこえがおのたのしいまいにちがすごせませうに♪